

みなさん、こんにちは。

E V等の試乗モニター事業のキックオフセレモニーにお集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、三菱自動車工業株式会社 水島製作所長の北尾光教様、西日本三菱自動車販売株式会社 中四国営業本部長の蜂谷政行様にも御出席をいただいておりますが、この事業は、三菱自動車工業株式会社と本県が2018年に締結いたしました「E Vなどの普及を進めるための連携協定」により、両社の方々に格別の御協力をいただいて実施できることとなったもので、心より感謝申し上げる次第です。

さて、気候変動をもたらすとされる地球温暖化という喫緊の課題に対しては、様々な分野で温室効果ガスの排出を削減することが求められておりますが、私たちの生活に不可欠な自動車の分野においては、温室効果ガスの排出削減につながる次世代の車として、世界各国でE VやP H E Vの普及が進んでおります。

本県でも、「本年度末までの普及台数6000台」という目標を掲げ、取り組んできているところです。

御存知のとおり、この温室効果ガスの排出削減については、国も「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」において、「2050年にできるだけ近い時期に脱炭素社会を実現することを目指す」としてしております。

本県といたしましても、国の掲げる脱炭素社会が早期に、できれば、2050年に実現できるよう、温室効果ガス排出実質ゼロに向けた取組を、行政・事業者・県民それぞれの立場から進めてまいりたいと思っております。

今回の試乗モニター事業には、民放各社のアナウンサーやリポーターの皆さま、そして、市民クラブチームとしてVリーグで御活躍の岡山シーガルズの皆さまに、著名人モニターとしてご協力いただけることになりました。本当にありがとうございます。

皆さま方をはじめ、県民の皆さま方には、E V等が環境に優しいというだけでなく、充電の簡単さや、その特性であります発進時のスムーズさや運転中の静かさについても体感していただき、こうした良さを広く発信していただければと存じます。

最後になりましたが、モニターの皆さま方には、くれぐれも安全運転に気をつけていただき、快適な試乗を楽しんでいただきますようお願い申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。